

母子成育看護学(母性看護学教授もしくは准教授)公募要領

1. 所属学科 看護学部看護学科
2. 職位及び人員 教授もしくは准教授
3. 担当領域 母子成育看護学領域(母性看護学)
4. 担当予定科目

【教授】

学部および専攻科

母性看護学Ⅰ、研究セミナーⅠ・Ⅱ、母性看護学実習、助産学概論、助産管理学、助産診断技術学Ⅱ、助産診断技術学Ⅲ、助産診断技術学Ⅴ、助産診断技術学Ⅵ、助産学実習、助産継続援助論実習、ハイリスク実習、助産管理学実習、助産学研究等

大学院

助産学特論Ⅰ～Ⅳ、助産学演習、助産学特別研究、母子成育看護学特講

【准教授】

学部および専攻科

母性看護学Ⅰ、研究セミナーⅠ・Ⅱ、母性看護学実習、助産診断技術学Ⅱ、助産診断技術学Ⅲ、助産診断技術学Ⅴ、助産診断技術学Ⅵ、助産学実習、助産継続援助論実習、地域助産学実習、ハイリスク実習、助産学研究等

大学院

助産学特論Ⅰ、助産学特論Ⅲ、助産学演習、助産学特別研究

5. 公募資格

- (1) 教授においては博士の学位を有すること
- (2) 准教授においては博士の学位を有することが望ましい
- (3) 大学(短期大学も含む)における教育経験を有すること
- (4) 5年以上の助産師としての実務経験を有することが望ましい
- (5) 教授においては大学院教育(助産学)を担当できること
- (6) 准教授においては大学院教育(助産学)を担当できることが望ましい
- (7) 看護師および助産師の資格を有すること
- (8) 学校教育法第9条に規定する欠格事項のいずれにも該当しないこと

6. 雇用条件

勤務時間

「専門業務型裁量労働制により、出退勤の時間は自由であり、所定勤務日の1日の勤務時間は7時間45分勤務したものとみなされます。」

休日：土・日、祝日、年末年始

休暇：年次有給休暇、特別休暇、傷病休暇等

加入保険：公立学校共済組合法、雇用保険法、地方公務員災害補償基金法の定めるところによる

その他：裁量労働制に同意しないことを想定して応募したい場合は、別途労働条件を明示しますのでご連絡ください。

7. 採用予定日：令和8年4月1日

8. 公募の締め切り：令和7年7月31日(木)17:00 必着

9. 提出書類：(規定第16条 及び看護4301号に基づく)

(1) 個人調書(様式1)

(2) 教育研究業績目録(形式は自由)

(3) 主な著書または論文の別刷り5編

(4) 教育・研究に対する抱負(様式自由, A4版用紙1枚程度)

(5) その他(様式任意 例：臨床における指導実績、社会貢献活動等)

10. 選考方法

(1) 書類審査

(2) 面接審査(面接にかかる交通費はご負担ください)

11. その他

1) 応募書類は返却しません。返却を希望する場合は、応募者の費用負担により返却しますので、その旨を明記の上、着払い扱いの宅配便の宛名ラベルを同封してください。

2) 提出いただいた書類は、厳重に保管・管理し、審査終了後は責任をもって廃棄します。書類に含まれる個人情報、選考以外の目的には使用しません。